

低学年分科会 (対象：2年1組32名)

1 分科会提案

(1) 目指すよい学習像

低学年分科会第2学年の目指すよい学習とは、児童が学びに集中して授業の終わりに「えっ、もう終わりですか。」と言ってしまう学習である。学習があつという間に感じられるような時とは、児童自身がやりたいたいと思えたり、必要感があつたりする活動で、児童の力に対してちょうどよい課題であることが大切だと考える。また、学習することが当たり前の習慣になっていることや、これまでの学習が自分の力として身に付いていることも大切である。

児童はそれぞれ、発達の特性や学力・意欲・自己有用感の差などさまざまな要因があり、同じ学習課題にあつても、前向きに取り組める児童もそうでない児童もいる。

学びに集中して授業の終わりに「えっ、もう終わりですか。」と児童が思わず口に出してしまうような学習を目指して、まずは、児童一人一人が自分事として、学習に参加できるようにすることを、1年間を通じた様々な教科・領域・行事で考えていきたい。

(2) 「よい学習」を実現するための手だて

① 机間指導の充実

昨年度の研究を振り返り、価値ある対話を学習に生かすために、机間指導の際の言葉掛けを十分に想定しておく。(10 資料)

② 発達段階にあった振り返り

また、児童自ら授業や対話を通してねらったことについて振り返り、価値付けできるように、授業毎に記号で行うものと、複数回対話をした後に、言葉で行うものを2通り考え、計画的に行う。

2 単元名「お話をたしかめてつくろう 春のお話ポスター」

教材名「ふきのとう」(光村図書 国語2年上)

3 教材観

早春の朝の竹やぶの中で、雪解けを待つふきのとうの小さなつぶやきから物語は始まる。春の暖かい風が吹くまでのわずかなひと時の自然を作者工藤直子さんが描いている。登場人物が順番に現れ、雪解けの遅れる現状を嘆く。文章の構造や台詞は繰り返される。お日さまにより、はるかぜが起こされ、連鎖的に課題が解決されていく。その様子は、詩的な言葉でリズムよく表現されている。

登場人物について、児童が捉えやすく、対応する台詞もつかみやすい。登場人物の行動(はるかぜの「あくび」や「息をすいこむ」)や、場面の様子(たけやぶがゆれる、雪がとけて水になる)から、登場人物の気持ちを想像しやすい教材であると考えられる。

4 単元の目標・評価規準

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
目標	・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。(1)ク	・場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。C(1)イ	・教材文を自分なりに読み取り、それをもとに学びを広げたり、まとめたりしようとする。
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	教材文を滑らかに音読している。(1)ク	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、教材文の設定を捉えている。C(1)ア ・「読むこと」において、登場人物の行動を捉えている。C(1)イ ・「読むこと」において、場面の様子を想像している。C(1)エ 	・教材文を読んで気付いたことや考えたことをもとに友達と対話するなど、学習をすすめている。

5 児童の実態

進級時にクラス替えを行った2年生である。全体的な読む力はまだ測りかねている。学級全体の前で「音読をしたい」と希望する児童は、5人程度と少ない。音読時に、読んでいる個所を目で追えない児童が10名程度いる。一斉指導時に、指示された学習に自ら注意を向けることが苦手な児童が多いように感じられる。算数のテストにおいても、テキストを読まずに解答を書く児童が散見された。読解というより、正確に文章を読むことについて、課題のある児童が多いと思われる。

学年で取り組んでいる読書記録には、意欲的に取り組む児童が多い。記録用紙がまだ1枚目という児童が多い中、すでに7枚目に入っている児童もいる。読み聞かせの際は、どの児童も集中してお話を聞いている。読んでいる途中に、今後の展開について予想させると、意欲的に考え楽しそうに発言する児童もいる。

学習時に、ペア（隣同士の席）での対話を促すと、自然に対話が始まるペアとそうでないペアが生まれる。片方が、対話の内容を理解していないことがあるので、よい反応を称賛したり、対話が進んでいるペアをモデルとして示したりして、クラス全員が対話を生かした学習に取り組めるようにしていきたい。

6 指導計画

次	時	主な学習活動	・指導上の留意点 ◆評価規準 ◎振り返り ☆評価方法
1次	1	①たぬきの糸車のお話ポスターを見て、イメージをもつ。 ②指導者の範読を聞く。 ③指導者に続いて音読をする。 ④滑らかに音読をする。	・1年生での学習を振り返り、お話のポスターに書かれていることをつかみ、学習への意欲を高められるようにする。 ・知らない語句を確かめたり、物語を想像したりしながら音読できるようにする。 ・新出漢字の読み方や書き方を確かめる。 ・児童のつぶやきを拾って、想像を促すような声掛けを行う。 ◆教材文を読んで気付いたことや考えたことをもとに友達と対話するなど、学習をすすめている。【態】 ☆発言・観察
2次	2・3・4・5 (本時) ・6	⑤お話の大体の内容を捉えながら音読する。 ⑥物語の設定について考える。 ⑦登場人物の行動や場面の様子を捉え、付け足す台詞を考える。	・登場人物という学習用語を確かめる。 ・音読する際に、「誰が、何をしたか」を探しながら読むようにする。 ・自分で考え、登場人物や行動を読み取ることが大切であると繰り返し指導する。 ・捉えた内容を生かして登場人物の台詞を加えられるようにする。 ◆教材文を滑らかに音読している。【知】 ☆音読 ◆登場人物の行動を捉え、登場人物の台詞を考えている。【思】 ☆発言・観察・記述 ◆場面の様子を想像している。【思】 ☆発言・観察・記述 ◆教材文を読んで気付いたことや考えたことをもとに友達と対話するなど、学習をすすめている。【態】 ☆発言・観察・記述
3次	7	⑧学習したことを生かして教材文の内容や音読の工夫をポスターにまとめる	・モデルを参考に、イラストを自分で描くか、ワークシートと同じイラストを使うか選べるようにする。 ◆学習した内容を生かして、ポスターに表現しようとしている。【思】 ☆発言・観察

7 本時の学習（5/7時間目）

（1）目標

登場人物の行動を捉え、場面の様子を想像することができる。

（2）展開

	○学習活動	・指導上の留意点 ◆評価規準 ☆評価方法
導入 (10分)	○前時を振り返り、本時のめあてを確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が見通しをもって学習できるように、これまでの学習や本時の活動を尋ねる。 ・単元の最後に何をするのか尋ね、児童が答えられるようにする。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> お話をそうぞうして、とうじょう人ぶつのせりふを考えよう。 </div> ○物語を想像する視点を確認する	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の発言やこれまでの学習の成果を生かして、登場人物の行動や前の場面の台詞、場面の様子から想像することを確認する。
展開 (25分)	○音読する。 ○登場人物の行動を捉え、台詞を入れる場所を考える。 ○場面の様子を想像し、台詞の内容を考える。 ○想像した内容や考えた台詞をもとに、対話し、考えを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の学習活動を保証するために、チームティーチングで指導を行う。 ・何人か指名し、台詞を書き入れる文や行間を明示することで、思いつけない児童への支援とする。 ・台詞を入れたい文だけ決めさせ、どのような台詞を入れるか対話する。 ・同じ文を選んだ相手や違う文を選んだ相手を見付け、台詞の内容や台詞を考えた理由を対話する。 ・誰がどの文を選んでいるか分かるようにし、対話の相手を見付けやすくする。 ・全体で必要性を感じたら学習活動を止め、確認する。 ・学習活動の様子を把握して指導できるように、焦って介入しない。
	○対話した内容を生かし想像を広げる。	<ul style="list-style-type: none"> ・対話した内容を生かすために、ワークシートに書き込む時間を設ける。 ◆お日さまやはるかぜの行動を捉え、登場人物の台詞を考えている。【思】☆発言・観察・記述
まとめ (10分)	○学習の振り返りを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・対話について、言葉で振り返らせる。 ・振り返りのモデルを示したり、振り返りの視点を明示したりするために、対話の良さを書いている児童を一人見付け、紹介する。

(3) 具体的な児童の姿と、目標の実現を目指すための手だて

十分満足できる (A)	おおむね満足できる (B)	努力を要すると判断した児童 (C) への具体的な手だて
登場人物の台詞や行動以外にも地の文から場面の様子を想像して、吹き出しに新しい台詞を考えている。	登場人物の台詞や行動から、場面の様子を想像して、吹き出しに新しい台詞を考えている。	どの叙述を元にして考えようとしているか尋ね、全体で共有する。 「わらいました」「せのびして」「むねいっぱい」に注目させ、場面の様子を想像させる。

(4) 修正した本時の展開

	○学習活動	・指導上の留意点 ◆評価規準 ☆評価方法
導入 (10分)	○前時を振り返り、本時のめあてを確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が見通しをもって学習できるように、これまでの学習や本時の活動を尋ねる。 ・単元の最後に何をするのか尋ね、児童が答えられるようにする。
	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">お話をそうぞうして、とうじょう人ぶつのせりふを考えよう。</p> ○物語を想像する視点を確かめる	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の発言やこれまでの学習の成果を生かして、登場人物の行動や前の場面の台詞、場面の様子から想像することを確認する。
展開 (25分)	○音読する。 ○登場人物の行動を捉え、台詞を入れる場所を考える。 ○場面の様子を想像し、台詞の内容を考える。 ○想像した内容や考えた台詞をもとに、対話し、考えを確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の学習活動を保証するために、チームティーチングで指導を行う。 ・何人か指名し、台詞を書き入れる文や行間を明示することで、思い付けない児童への支援とする。 <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">本文の叙述→台詞ではなく、台詞→本文の叙述の方が、児童の思考の流れにあっていないため、この活動はしない。</p> <p style="color: blue;">→台詞を入れたい文だけ決めさせ、どのような台詞を入れるか対話する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">考えた台詞について、どこを根拠にしたか対話することで、台詞（読み取り）と本文を行き来させる。</p> <p style="color: blue;">→同じ文を選んだ相手や違う文を選んだ相手を見付け、台詞の内容や台詞を考えた理由を対話する。</p> <p style="color: blue;">→誰がどの文を選んでいて分かるようにし、対話の相手を見付けやすくする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体で必要性を感じたら学習活動を止め、確認する。 ・学習活動の様子を把握して指導できるように、焦って介入しない。 ・対話した内容を生かすために、ワークシートに書き込む時間を設ける。 <p>◆お日さまやはるかぜの行動を捉え、登場人物の台詞を考えている。【思】☆発言・観察・記述</p>
	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">多様な考えと出会えるように、対話を促すとともに、振り返りの視点につながるような学び方を行っているペアを見付け称賛する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">児童が自然と対話をつないでいけるように、指導者が「どこからそう思ったの?」「それってどういうこと?」といったフレーズを使い、机間指導などで対話のモデルを示していく。</p>	
まとめ (10分)	○学習の振り返りを行う。 <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">学習に対して前向きな姿勢や友達の意見を言及するような振り返りができるように指導する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・対話について、言葉で振り返らせる。 ・<u>振り返りのモデルを示したり、振り返りの視点を明示したりするために、対話の良さを書いている児童を一人見付け、紹介する。</u>

8 板書計画

お話をたしかめてつくろう 春のお話ポスター

ふきのとう くだうなおい

お話をそうぞうして、とうじょう人ぶつのせりふを考えよう。

ふきのとう、雪…

また、あの子だな。

お日さまがわらいました。

わたしが、なんとかしてあげよう。

南をむいて言いました。

まだ、ねむいよ。

お日さまにおこされて

気もちのいい、あさだなあ。

せのびして

またせちやったから、がんばる

むねいっばいにいきをすい

ふうつとひきをよみました。

竹やぶ…おつ、風がふいてきたぞ。

ふりかえり

話しあって、よかったこと、新しくわかったこと。

名まえ	名まえ	名ま	名まえ
名まえ	名まえ	名まえ	名まえ

9 机間指導の目的と言葉掛け(10 資料に替える)

10 資料

授業台本

これから5時間目の学習を始めます。よろしくお願いします。

今日は何をしますか。

せりふを考えます。

だれの台詞を考えますか。

ふきのとう？雪？お日様？登場人物。

(児童の発言を生かして、めあてや台詞を考えるときのポイントを板書していく。)

台詞を考えるときに〇〇さんはどうしていますか。

教科書を読みます。

〇〇さんは？

想像します。

〇〇さんは？

何をしているか読み取ります。

ここまでに、めあてを板書する。 「お話をそうぞうして、せりふを考えよう。」

では、音読しましょう。

大きな声で音読しないとだめですよ。

教科書を持ちます。どうぞ。

今日のワークシートを配ります。(大画面に写す。)

名前を書いてください。

書きましたか。

〇〇さん、読んでください。皆さんは、何をしますか。

目で追います。

登場人物を探します。

登場人物がしていることを探します。

聞いていなさそうな子を指名する。

探せましたか。

登場人物に○をつけましょう。

さすがですね。

登場人物のしたことを探してください。探したら、線を引く。なるべく短く引きましょう。

「」のところは言った内容ですね。

できた人

発言させる。大画面で線を引く。

板書：登場人物の行動と名前

では、自分で線をひいたところの台詞を考えましょう。できそうですか??

どうぞ。「隣で話し合っただけ。対話①」

机間指導①

目的：台詞を書いていることの承認⇒台詞を書いている児童に赤鉛筆で丸。

Bに満たない児童への支援⇒本文への付け足しになっている児童は、後ろの作例を見に行かせる。

予定している声掛け

これは、台詞ではありません。台詞とは登場人物が話していることです。後ろにヒントがあるから見ておいで。分かりましたか。

お日さまが笑っています。どんな気持ちだと思いますか。その気持ちにあった台詞を考えましょう。

大あくびってどんな感じですか。やってみてみましょう。

背伸びしてみてください。どうですか。思いつきましたか。

これは誰の台詞ですか。その時、他の登場人物はどんなことを言っていると思いますか。

書けましたか。では、対話します。ここの台詞を考えた人

〇〇さん、△△さん前に出てきてください。ちょっと練習。

どうぞ

「 」

〇〇さんの台詞に対して、質問していたね。自分の感想を言っていたね。

じゃあ、みんなでやります。対話のあと、書き足す時間とるから、そこで書き足せるように対話してください。

ペアになるのが苦手だっけという人だれだっけ？みんな覚えた？

ペアになるのが得意だっけという子誰だっけ？覚えた？

はじめ

机間指導②

目的：1. 対話していない児童をペアリングする。

2. 男女関係なくペアリングさせる。

3. ふきのとうの台詞を考えている児童を見つける。

4. 自分の感想を伝えているペア（児童）を見つける。（全体の流れをとめ、紹介する。）

5. 相手の台詞の根拠を考え伝えているペア（児童）を見つける。（全体の流れをとめ、紹介する。）

想定している声掛け

（ペアを見つけて）このペアで対話しましょう。

いつも仲のよい子同士だけではだめです。みんなで学習しましょう。

なぜ、この台詞を考えたのだと思いますか。

感想を言ってくれたら、あなたも一言返しましょう。

あなたの想像が合っているかどうか、聞いてみてください。

終わりです。

何人と対話することができたか、聞きます。手を挙げてください。

1人、2人…、8人以上。

では、感想やなぜその台詞を考えたのか想像して言えた人はいますか。

2人でできてください。

やってもらおう。

どうも。

それでは、書き足す時間を取ります。必ず、書き足してください。

どうぞ。

机間指導③

目的：書き足すことの意欲を高める。⇒書き足した台詞にどんどん花丸をしていく。

隣同士で、書き足した台詞を紹介してください。

では、学習を振り返ります。今日は、5時間目だから、言葉で振り返ります。

対話をしてよかったこと

対話をして気が付いたこと

を詳しく書きましょう。

難しい人は、だれと、どんな対話をしたか、思い出して書きましょう。

隣で話してよい。

机間指導④

目的：1. 前回の言葉による振り返りで、書けなかった児童の見取り

⇒自分の言葉で振り返りを書いていたら、赤鉛筆で花丸をする。

2. 紹介したい児童を探す。

見付けたい児童 ①対話することで、自分では気が付かなかった視点に気が付いた児童

②対話して、相手の意見について考えることが楽しかった児童

③対話して、新しい台詞が思いついた児童

予定している声掛け（困っている児童のみ）

誰とどんな対話をしたか、思い出して書きましょう。

振り返りを一人紹介する。

台詞を考えられた人。結構いい台詞が書けた人。なぜ、書けたのだろう。

明日もお話を想像して台詞を考えます。できそうですか？

それでは、終わります。